

1 この科目の構成について

教 科	国語科	科 目	古典	単 位	2単位
対象コース	カレッジコース・理系	対象クラス	3年1組		
使用教科書	精選 古典B (大修館書店)				
使用副教材	体系古典文法(数研出版) 新明説漢文(尚文出版) 古文単語301(尚文出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の講読を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	以下のことを主として学びます。 <古文>…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 <漢文>…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。 問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 家庭学習の時間は暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。授業で得た知識を確実なものとし、それを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	(1)定期考査→年5回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2)小テスト→授業の中で古文単語テストを実施します。 (3)長期休暇中の課題→古文・漢文の演習問題を宿題として課します。 (4)学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
評価における定期考査の割合	
	70 %

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的・客観的な思考や判断ができているかを評価します。 (3) 技能・表現 考えをまとめる力に加え、口頭・文章ともに、受け手に配慮した表現ができる力を重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

